

会 議 録

名 称	酒田市子ども・子育て会議（平成 25 年度第 1 回）	
議 題	<p>(1) 子ども・子育て会議の運営について ・会長及び副会長の互選について</p> <p>(2) 酒田市子ども・子育て会議への諮問について</p> <p>(3) 子ども・子育て支援新制度の概要等について ・会議の位置付け ・子ども・子育て支援新制度の概要 ・酒田市の子ども・子育て支援事業の現状</p> <p>(4) ニーズ調査の回収率について</p> <p>(5) 子ども・子育て支援新制度施行に向けたスケジュールについて</p> <p>(6) その他</p>	
開催日時場所	平成 25 年 11 月 7 日（木）午前 10 時 00 分～12 時 00 分 酒田市民会館希望ホール 小ホール	
出席者	委 員	小林委員、五十嵐委員、藤井委員、前田委員、赤松委員、北谷委員、佐藤委員、近藤委員、山口委員、石垣委員、宮田委員、齋藤委員、加藤委員、武田世津委員、大滝委員、武田真理子委員、岩間委員、村上委員
	事務局 (所管課)	子育て支援課
	関係課等	福祉課、健康課、学校教育課
会議の概要	※詳細別紙	
配布資料	<p>資料 1 酒田市子ども・子育て会議条例</p> <p>資料 2 酒田市子ども・子育て支援事業計画の策定について（諮問）</p> <p>資料 3 子ども・子育て支援新制度について</p> <p>資料 4 酒田市の子ども・子育て支援事業の現状</p> <p>資料 5 ニーズ調査の回収率について</p> <p>資料 6 子ども・子育て支援新制度施行に向けたスケジュールについて</p> <p>別添 1 子ども・子育て関連 3 法について（国の資料）</p> <p>別添 2 酒田市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査票 （就学前児童保護者用、小学生保護者用）</p>	
特記事項		

別紙

酒田市子ども・子育て会議（平成 25 年度第 1 回）（要旨）

- 1 開催日時：平成 25 年 11 月 7 日（木）午前 10 時 00 分～12 時 00 分
- 2 場 所：酒田市民会館希望ホール 小ホール
- 3 出席者：
 - 委 員 小林委員、五十嵐委員、藤井委員、前田委員、赤松委員、北谷委員、佐藤委員、近藤委員、山口委員、石垣委員、宮田委員、齋藤委員、加藤委員、武田世津委員、大滝委員、武田真理子委員、岩間委員、村上委員 （18 名）
 - 酒田市 健康福祉部長、福祉課長、健康課長、学校教育課長（代理）、子育て支援課（事務局）
- 4 議 題：
 - (1) 子ども・子育て会議の運営について
 - ・会長及び副会長の互選について
 - (2) 酒田市子ども・子育て会議への諮問について
 - (3) 子ども・子育て支援新制度の概要等について
 - ・会議の位置付け
 - ・子ども・子育て支援新制度の概要
 - ・酒田市の子ども・子育て支援事業の現状
 - (4) ニーズ調査の回収率について
 - (5) 子ども・子育て支援新制度施行に向けたスケジュールについて
 - (6) その他
- 5 配布資料：
 - 資料 1 酒田市子ども・子育て会議条例
 - 資料 2 酒田市子ども・子育て支援事業計画の策定について（諮問）
 - 資料 3 子ども・子育て支援新制度について
 - 資料 4 酒田市の子ども・子育て支援事業の現状
 - 資料 5 ニーズ調査の回収率について
 - 資料 6 子ども・子育て支援新制度施行に向けたスケジュールについて
 - 別添 1 子ども・子育て関連 3 法について（国の資料）
 - 別添 2 酒田市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査票
（就学前児童保護者用、小学生保護者用）
- 6 その他

【 午前10時00分開会 】

○進行（こども育成主査）

定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。本日はお忙しい中、またお足元の悪い中、出席いただきましてありがとうございます。会議に先立ちまして委員となられる皆様に委嘱状を交付いたします。委嘱は健康福祉部長より交付させていただきます。交付は委員を代表して、酒田市PTA連合会 小林 充 様に交付いたします。健康福祉部長が席まで参りますので、その場でお受け取りください。

【委嘱状交付】

これより、平成25年度酒田市子ども・子育て会議を開会します。暫時の間、進行を務めさせていただきます酒田市子育て支援課子ども育成主査の堀賀と申します。よろしく願いいたします。

なお、本日は酒田市小学校長会 大通雄治様、公益社団法人酒田青年会議所 櫛引柳一様より欠席の連絡をいただいております。

それでは次第にしたがいまして進めさせていただきます。

はじめに、健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。

○健康福祉部長

皆様こんにちは。酒田市健康福祉部長の久松と申します。本日は足元のお悪い中、また庁舎の改修工事が始まり駐車スペースが少ない中、お集まりいただきましてありがとうございます。本間市長が出席する予定でしたが、公務復帰が来週からになったということで、私からご挨拶申し上げます。

ただいま、代表の小林様に委嘱状を交付いたしました。皆様には今後2年間、酒田市子ども・子育て会議の委員をお願いすることになりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

後ほど資料で詳しくご説明申し上げますが、昨年8月に子ども・子育て関連3法が成立しまして、平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートすることになりました。そして市町村には新たに、子ども・子育て支援事業計画の策定が義務づけられ、その計画策定にあたりまして、子育て支援関係者や保護者の意見を計画に反映させるための組織を極力設置するように国から求められました。本市ではこれまで同様の組織として子育て支援推進協議会を設置しまして、子育て支援行動計画を策定し事業を推進してきたところでありますが、先の9月議会で酒田市子ども・子育て会議条例を制定したところであります。委員の皆様には今後2年間、新たな計画策定や事業の進捗管理につきまして審議をお願いすることになります。本日は第1回目の子ども・子育て会議ということで、会長・副会長の互選をお願いするほか、酒田市子ど

も・子育て会議条例の内容、子ども・子育て支援新制度の概要、本市の子ども・子育て支援事業の現状、また今後のスケジュールについてご説明申し上げます。酒田市の子育て支援策としまして、酒田市子育て支援行動計画策定時よりも多くの会議開催になろうかと思いますが、委員の皆様方にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

この子ども・子育て会議が、名実ともに今後の酒田市の子育て環境を向上させる重要な組織となりますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。本日は大変ご苦勞さまでございます。

○進行（こども育成主査）

続きまして委員紹介です。お集まりの委員の皆様を紹介させていただきます。

お配りしている名簿順に紹介させていただきます。

【委員紹介】

本日は 20 名の委員の中、18 名のご出席をいただいております。酒田市子ども・子育て会議条例第 7 条第 2 項に、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができないと定めておりますが、以上のとおり、本日は定員数を満たしておりますことをご報告させていただきます。

続きまして、酒田市職員を紹介させていただきます。

【職員紹介】

それでは、「4.議事」に移ります。「(1) 子ども・子育て会議の運営について」子ども・子育て会議条例第 6 条第 1 項で、会長及び副会長は委員の互選により決めることとしております。また条例第 6 条第 2 項で、会長は会議の議長となる、としております。今回は第 1 回目の開催で会長・副会長がいませんので、はじめに会長・副会長を選出いたします。どなたか推薦はございませんでしょうか。

【推薦の声なし】

もしなければ、事務局案を提案させていただきますが、よろしいでしょうか。

【異議なしの声あり】

ありがとうございます。事務局案としまして、これまで酒田市子育て支援推進協議会の会長、副会長を務められた兩名に継承するかたちで、会長に東北公益文科大学准

教授 武田真理子委員、副会長にがくほれん With 酒田理事長 佐藤義朗委員と提案させていただきます。賛成の方は挙手をお願いいたします。

【出席委員全員の挙手あり】

挙手多数であります。それでは会長を武田真理子委員、副会長を佐藤義朗委員をお願いいたします。新たに会長、副会長に選出されました武田委員、佐藤委員より一言ご挨拶をお願いいたします。

○武田会長

あらためまして、武田と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。日頃より皆様に色々なかたちでお世話になっていると思います。まずは感謝を申し上げます。子育て支援行動計画の策定に対する意見を聴取する場としての協議会、あるいは進捗状況を確認するという協議会の役割を、今日ご出席の委員の方々とともに、これまで担ってまいりましたが、新しい子ども・子育て会議は、これまでとは違うかたちで色々な役割を課せられているように理解しております。そのような点で、現場でご活躍の、それぞれの委員の皆様のご意見を拾えるように努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○佐藤副会長

副会長を仰せつかりました佐藤と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。子ども・子育て関連 3 法の施行にともない、来年には消費税が上がり、社会保障がどうなるのか。そして 10 年後、20 年後、30 年後の主役は間違いなく今の子どもたちになります。子どもたちを健全に育てるには、やはり親の世代、おじいちゃんやおばあちゃんの世代が健全でなければならぬかなと思っています。年間 5 回ほどの会議ということですが、各職域、各方面の皆様からご意見をいただき、顔を合わせながら、より良い会議にしたいと思っています。よろしくお願ひします。

○進行（こども育成主査）

ありがとうございました。それでは武田委員には会長席に移っていただきまして、議事進行をお願いいたします。

○武田会長

それではよろしくをお願いいたします。議事進行を務めさせていただきます。次第にしたがいまして、「(1) 子ども・子育て会議の運営について」も説明が必要と思っておりますので、事務局よりお願ひします。

○事務局（子育て支援課長）

それでは、「(1) 子ども・子育て会議の運営について」説明させていただきます。

【資料1 酒田市子ども・子育て会議条例】に基づき説明】

○武田会長

ただいまの説明につきまして質問等あれば、挙手をお願いします。今後の運営についてですので、重要な事項かと思えます。

○近藤委員

今回は紙ベースの資料ですけれど、ホームページへの公開とあわせて、委員に対しても希望すれば事前に電子ファイルでいただくことはできるでしょうか。

また、議事の録音という話がありましたが、委員が録音することも可能でしょうか。

○進行（こども育成主査）

電子ファイルによる送付は可能です。また委員による録音も、特に禁止されておりませんし、公表させていただく会議となりますので、問題はないかと思えます。

○武田会長

録音等については委員の皆様のご了解も必要かと思えますが、よろしいでしょうか。

【異議の声なし】

ほかにご質問いかがでしょうか。

【質問・意見なし】

それでは、子育て支援課長から説明ありましたとおり、資料は事前にお送りいただけるということでした。また、欠席の場合も事前にご意見いただければ会議で取り上げたいと思います。会議は限られた時間ですので、ご意見等を会議で十分に出していただけない場合は、直接事務局へということもあるかと思えますので、よろしく願います。

それでは「(2) 酒田市子ども・子育て会議への諮問について」に進みます。
事務局よりお願いします。

○進行（こども育成主査）

健康福祉部長より会長に諮問書をお渡しします。

【諮問書を会長へ、諮問書の写しを各出席委員へ】

○武田会長

ただいま受けた諮問につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（子育て支援課長）

ただいまお配りした「資料2」をご覧ください。酒田市子ども・子育て会議へ酒田市子ども・子育て支援事業計画の策定について諮問をしております。裏面に諮問の趣旨を載せております。こちらについて読み上げによりご説明させていただきます。

【「資料2 酒田市子ども・子育て支援事業計画の策定について（諮問）」趣旨読み上げ】

○武田会長

会議の委員の皆様に対して諮問がありましたが、具体的な中身については、(3)からと思いますが、この諮問について、ご質問があれば挙手をお願いします。

【質問・意見なし】

それでは、「(3) 子ども・子育て支援新制度の概要等について」に進みます。

資料がたくさんございますが、「資料3」と「資料4」を中心に事務局から説明をいただき、その上で皆様からご質問、ご意見を賜りたいと思います。

○事務局（子育て支援課長）

それでは事務局より「(3) 子ども・子育て支援新制度の概要等について」説明させていただきます。

【「資料3 子ども・子育て支援新制度について」に基づき説明】

○武田会長

ありがとうございます。一度、ここで区切らせていただきます。今、「資料3」をもとに説明いただきました。

国の子ども・子育て関連3法が昨年8月に交付され、それに伴って平成27年4月から新たな制度が施行されるわけですが、説明があったとおり、子ども・子育て支援事業計画、具体的には必須記載事項、任意記載事項というものがあり、この子ども・子育て支援事業計画の策定に対し、意見を述べていくということでした。そのほか、子ども・子育て会議の所掌事務についても説明いただきました。具体的には特定教育保育施設、従来の保育園、幼稚園、認定子ども園の利用定員の設定など、非常に重要なことについて会議で審議を行い、酒田市の新制度のもとの運用をしていくということでした。また、子育て支援行動計画の後期計画が、新制度が始まる直前までございますので、その進行管理、評価についても皆様をお願いしたいということでした。国の制度の説明が中心だったと思いますが、私たちの役割についても関係する内容でしたので、ここまでで、皆様から内容について質問や意見がございましたら、いただきたいと思います。

○近藤委員

あとで説明があるかと思いますが、「資料3」の中で触れられましたニーズ調査についてお聞きしたいと思います。「資料5」にあるとおりニーズ調査が70%を超える回収率ということで、これは比べるのもどうかとは思いますが、市議会議員選挙の投票率などと比較すると高い回収率で、皆さんの関心の高さがうかがえるものではないかと思えます。我々も保育園などでニーズ調査票を配布して回収したということもありますので、中身についても把握していますが、このニーズ調査の国の雛形というものがあって、そこから酒田市版というものを作成されたと思うのですが、どのような経緯で項目設定ですとか内容を決定して調査を行ったのかうかがいたいと思います。参考までに他市町村、たとえば新庄市では、会議でニーズ調査の項目設定を行って、それからニーズ調査を行うというケースもございましたので、酒田市の場合、ニーズ調査が先行して、子ども・子育て会議に臨むというスタイルとなったわけですが、その理由づけにつきましても、あわせてお尋ねしたいと思います。

○武田会長

今日はPTAの方も、保護者でニーズ調査にお答えした方もいらっしゃると思います。このニーズ調査の位置づけについて、「資料3」にありますとおり、ニーズ調査にもとづいて事業計画を策定するとありますが、酒田市の場合、このニーズ調査の位置づけをどのように捉えられているのか、具体的には項目設定をどのようにされたのかというご質問だったと思います。

○事務局（こども育成主査）

今回のニーズ調査の項目設定ですが、かなり市の独自部分も含めての調査内容とな

っており、調査内容の量も多かったと思われます。国の雛形については、国の子ども・子育て会議の中で議論を重ねた結果、調査票に盛り込む必須項目がございます。それについては県に集計結果を報告して全国的に集計すると聞いております。そのほかの項目については、前回の子育て支援行動計画策定時のニーズ調査項目を挙げさせていただきます。こちらについては酒田市子ども・子育て会議の中で、酒田市独自ということで、酒田市子育て支援行動計画の推進ならびに進捗状況の点検および評価を行うことを定めさせていただきました。前回、お聞きした内容の中から保護者がどのように感じているのか、不足しているのはどこか、満足しているのはどこか、という所を点検していかなければなりませんので、前回のニーズ調査とかなり似た内容となっております。また、新たに福祉課で発達支援室ができておりますので、そのあたりの相談機関などが充実しているかどうかお聞きした部分もでございます。

当初、国ではニーズ調査については補助経費が人口割ということで、限られたものであるということで、委託料は、就学前児童に限りで、安心子ども基金の中から出すということだったようです。今回酒田市では就学前児童で保育所もしくは幼稚園、認定子ども園に入っているお子さん全部、あと酒田市は独自に小学校、特別支援学校も調査対象としています。

中学校に入る前のお子さんすべてを対象にしたことで、かなりの経費がかかり、施設等のご協力を得てニーズ調査票の配布と回収を行わなければなりませんので、この会議を開く前に送らせていただきまして、独自の集計をさせていただいております。お諮りする時間がなかったというところもあります。ほかの市町村さんの中では、会議の中で聞いていくということも情報として入っていましたが、量的なもの、多くの皆さんから意見を聞きたいと考えておりましたので、国から示された内容と、酒田市の後期計画の内容に加えて新たに聞かなければならない内容を加えさせていただいて、ニーズ調査を行ったところです。

○武田会長

ありがとうございました。会議の位置づけが分かる説明だったと思いますが、既存の行動計画の進捗管理、評価も行っていかなければならないので、新しい制度の施行に向けたニーズ調査の国の必須項目だけではなく、子育て支援行動計画の策定時もニーズ調査も行っていきますので、それと合わせた項目も入れた上で、新たな項目も追加してアンケートを行っているということでした。できるだけ多くの子どもを対象にしたいということで、この会議の前にニーズ調査を行っているということでしたが、すべて納得いただいていると思いませんけれども、今の説明でよろしいでしょうか。

【質問・意見なし】

○武田会長

本来であれば事業計画を策定するに当たって、ニーズ調査が一番重要であると思いますが、最初に子育て支援課長から説明ありましたとおり、委員以外の関係機関等の意見を聴取することもできるということで、また委員の皆様でお気づきの点がございましたら、ニーズ調査の結果が出たあとに、ここが足りないのではないかとといったご意見をいただければよろしいのではと思います。

ほかに、今日はじめて会議に出席された皆様の中には、子ども・子育て支援新制度の中身がよく分からないということもあると思いますが、この新制度に関するご質問などはございますでしょうか。詳しくは「別添 1 子ども・子育て関連 3 法について」の資料がございます。

○山口委員

子ども・子育て会議条例第 3 条第 2 号で、酒田市子育て支援行動計画の推進並びに進捗状況の点検及び評価に関する事、とあるのですが、この子ども・子育て会議の位置づけとして、これまでの酒田市子育て支援推進協議会との関係はどうなっているのでしょうか。並行しているのであれば評価はするとしても、推進は別になると思いますし、完全に移行したのであれば、これまでの協議会は終わったということになるかと思うのですが、平成 26 年度末で終わるということで、これを踏まえて今後の計画を新たに作っていくのかということをお聞きしたいと思います。

○事務局（子育て支援課長）

酒田市子育て支援推進協議会は酒田市子ども・子育て会議の設置に伴いまして終了というかたちを取らせていただきましたので、並行はしておりません。既存の推進協議会の構成員を充実させ、子ども・子育て会議を立ち上げたという位置づけになります。酒田市子育て支援行動計画にかわるものが、今後一緒に考えていただく子ども・子育て支援事業計画になります。

○山口委員

そうしますと先ほど、以前の協議会の評価も踏まえてニーズ調査をお出しになったということでしたが、私は新しく委員になったもので、その評価がどうだったか何も見えないのですけれど。整合性が一切わからないということでして、またニーズ調査もどうやったかということも、評価を踏まえてどういう方向になったかとか、ニーズ調査自体の評価もできない状態ですので、この辺を教えていただきたいと思います。

○武田会長

重要なご意見ありがとうございました。子ども・子育て会議自体が新しいので、委員皆さんが新任ということですが、子育て支援推進協議会のメンバーでなかった委員の皆様は、これまでのニーズ調査の項目及び結果、あるいは子育て支援行動計画の進捗状況の情報があると思いますので、これをお届けいただければと思います。

○事務局（子育て支援課長）

子育て支援行動計画の進捗状況や評価を踏まえたニーズ調査となっているわけですが、その辺が見えていないということではニーズ調査自体の評価判断をしづらいということでしたが、ニーズ調査で子育て支援行動計画のもとに行われてきた子育て支援の施策につきまして、どうだったのかお答えいただく設問内容になっておりますので、ニーズ調査の集計をしていく中で、実際に子育て支援の施策を受けてこられた方々の評価が出てくるのかなと考えております。今後、平成 27 年度からの新制度の本格実施に向けて事業計画をまとめていくわけですが、ニーズ調査の結果も合わせてお示しする方向で考えているところです。

○武田会長

これまでの進捗状況なども、重要な参考資料となりますので、お渡しいただければと思います。

○事務局（子育て支援課長）

これまでのものにつきましては、遅ればせながらお渡しできるものもございますので、対応したいと思います。

○武田会長

重なる部分と、また新しい気持ちで取り組む部分と両方ございますので、今後の会議で不明な点は皆様からどうぞご質問を出していただきたいと思います。

それでは、関連すると思いますが、酒田市の子ども・子育て支援事業の現状についてご説明いただきまして、皆様からご質問などを頂戴したいと思います。

○事務局（子育て支援課長）

それでは、酒田市の子ども・子育て支援事業の現状について、「資料 4」によりましてご説明申し上げます。ここでは、子ども・子育て支援事業の背景として、人口減少や少子化傾向等のデータを示したのち、現在の幼稚園や保育園等の状況、それから新制度において子ども・子育て支援事業と規定されているもののうち、現在すでに酒田市で取り組んでいる事業の状況を紹介するかたちとなっております。

【「資料 4 酒田市の子ども・子育て支援事業の現状について」に基づき説明】

○武田会長

ありがとうございました。本日は第 1 回目子ども・子育て会議ということで、新しい子ども・子育て支援法に基づく酒田市の事業について説明をいただきました。皆様それぞれ関わっていたり利用している事業もあるでしょうが、全体像はこういったものだという資料となっていると思います。ただいまの説明についてご質問などございましたらお願いします。

○近藤委員

「資料 3」を見させていただいた中で気になった点がありましたので、意見も含めて発言したいと思います。

まず根本的な問題なのですが、この子ども・子育て会議の委員に、認定こども園を実際に運営されている方がいないのですが、その点が気になりました。

市内で事業所内保育施設が 3 ヶ所とありますが、末尾のリストになかったので、名称などを教えていただければと思います。それから病児・病後児保育事業について、平成 24 年度の実績については資料で分かるのですが、あきほ保育所の平成 25 年度の実績についても、分かれば教えていただきたいと思います。それと、病児・病後児保育の実績について、平田保育園の実績が極端に少ないようですが、これは何故なのかという点と、市の運営で看護師の配置などしていると思いますが、投資を活かしきれていないのではないかと感じているところです。それと乳幼児全戸訪問事業で 96.4% の訪問率の実績とありましたが、気になったのは、残りの 3.6% になぜ訪問できなかったのか、原因を把握されているようでしたら教えてください。

○武田会長

現状を把握するための重要なご質問だったと思います。一つ目はご意見としまして、認定こども園の運営者が委員にいないということでした。これは意見ということでしょうか。残りの四つについて回答をお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

酒田市内の事業所内保育施設としましては、ヤクルトさんの保育所と、日本海総合病院のあきほ保育所、それと健生病院のなないろ保育所の 3 か所が事業所内保育所になります。また平成 25 年度病児・病後児保育の実績につきましては、10 月の時点で日本海総合病院のあきほ保育所が約 100 名ほどとなっております。また、平田保育園の病後児保育の実績が少ないという件ですが、これは病後児保育の場合、保育園に入所しているお子さんは保育園で状態が悪くなっても親が迎えに来るまでお預

かりするということが行われていたりしますし、またそういった状態のお子さんの預かりを園の事業としてやっている場合もあり、平田保育園の病後児保育の利用まで至らない場合もございます。また日本海総合病院にありますあきほ病児・病後児保育所でカバーされているのかなと考えています。これまではもっと実績が低かったのですが、あきほ病児・病後児保育所で、お子さんの状態を見て、この場合は病後児保育のほうが良いということで、平田保育園を紹介するという関係もできております。数が極端に少ない状況ではありますが、利用の実績は堅調と判断しております。

○健康課長

健康課でございます。乳幼児全戸訪問事業につきましては、保育士と在宅保育士等の協力を得まして訪問しているわけでございますけれども、実態としましては100%に達していない状況です。残りの3.6%でございますけれども、この場では詳しい実態がつかめませんので、後ほど調べたものをお知らせさせてもらえればと思います。酒田に里帰りしている方もおりますし、そういった方の関係もあるのかなとも思いますけれども、なお詳しい状況につきましては後ほど調べまして、ご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○近藤委員

ありがとうございます。要保護児童などとの関係で、そういったところも気になりましたのでお聞きしました。

○武田会長

新制度の下での事業計画でも、そのあたりは重要になってくるかと思います。ほかにご質問いかがでしょうか。

○赤松委員

質問ということとは違うかもしれませんが、私が今日ここに来ているのは保護者の代表といいますか、みんなが今、何が重要かということで、急遽、今日言ってきてほしいという方がいました。その方のご意見なのですが、延長保育についてです。幼稚園や保育園では預かってくれる時間が長く、朝7時から夜19時まで預けられるのですが、今、友達が入れている学童保育ですと休みの時は朝8時からで、帰りの迎えは18時10分まで行かなければいけない状況で、これから雪が降ってくると、迎えはとて間に合わない。それでファミリー・サポート・センターですとか子どもだけで乗れるタクシーなどにも登録しているのですが、仕事の関係でその日の16時にならないと帰れるか帰れないかも分からない。それから連絡して、子どもがどうなるかも分からないというのがすごく不安ということで、一緒に行っている学童の子どもたちと

か、私も行ける時は協力すると言っているのですが、結局、子育てしている世代は夜の 18 時、19 時はすごく忙しいというか、子どもはもちろん帰ってくるし、ご飯も食べさせて早く寝かせなくてはいけないし、私も子どもがいるので、スポ少の送り迎えなどもあって協力したいけれども行けないというのがすごくあります。どうしてほしいかといいますと、学童の開いている時間を延ばしてほしいというのが一番で、私がこの意見を言って、それも駄目になるのはすごく困るのですが、朝、休みの日には 8 時に開くところも、担当の先生が 7 時 40 分に来てくださって鍵を開けてくださるのを待っていて、「すみません、お願いします」と置いていくのが現状なんだそうです。私がこれを言って、そういうことはしないでくださいと市のほうで止められてしまうと、すごく申し訳ないことになってしまうので、できれば 7 時半に開けてもらって、希望が多ければ見ますという状況が整えば、働いているお母さんたちにとっては安心だと思うんです。そういった状況を皆さんに知ってほしくて代表として来ましたので、もし時間延長などを考えているというのであればお知らせ願いたいと思います。

○武田会長

ありがとうございます。ご意見ということと、現時点で検討されていることがございましたらお答えいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局（子育て支援課長）

ご意見につきましては、そういった声があがっているということで受け止めさせていただきます。また、対応につきましては今年度、平田学区学童保育所さんでモデル事業として延長保育事業をやっております。その様子を踏まえまして今後、各学童保育所さんでの展開を考えていきます。ニーズ調査の中でも、興味をもって集計を見ていきたいと思っているところでございます。

○武田会長

ご友人の方にとっては、すぐにでもというお話だと思うのですが、市ではモデル事業をやって検討しているということで、事業計画の中にも盛り込んでいければと個人的には思いました。

第 1 回目の会議ということで説明に時間をかけていますけれども、最後の「(4) ニーズ調査の回収率について」と「(5) 今後のスケジュールについて」をあわせて説明をお願いします。

○事務局（子育て支援課長）

それでは「(4) ニーズ調査の回収率について」及び「(5) 今後のスケジュールについて」ご説明申し上げます。

【「資料5 ニーズ調査の回収率について」、「資料6 子ども・子育て支援新制度施行に向けたスケジュールについて」に基づき説明】

○武田会長

ニーズ調査の回収率につきましては、前段の議事でもご質問をいただきましたけれども、今後のスケジュールとあわせて、皆様からご質問はございますでしょうか。確認しておきたいことがございましたらお願いします。会議がたいへん多くなりますが、先ほど説明ありましたように、非常に重要な、皆様それぞれの代表ということですのでよろしくをお願いします。今日は第1回目ということで、共通認識を持つために情報提供を事務局からいただきましたが、次回以降、資料を事前にお送りいただけるということでしたので、委員の皆様は大変お忙しいと思いますが、事前に資料をご覧いただき、会議中に広く意見をいただいて、意見が異なることもあると思いますので、協議ができるようなかたちにしていきたいと考えていますので、ご協力よろしくお願いたします。

○藤井委員

いろいろと貴重な意見があったと思いますが、議事録を作成して委員に配布などはなさるのでしょうか。

○事務局（こども育成主査）

議事録につきましては作る予定です。また、配布もしたいと考えています。

○武田会長

これは、ホームページには載せるのでしょうか。

○事務局（こども育成主査）

ホームページでの公開も予定しております。

○武田会長

委員の皆様にも確認いただくということで、活用していきたいと思います。ほかにございますでしょうか。

○石垣委員

ニーズ調査の回収率についてですが、私は中町で子育て支援の活動をしております「にこっと」なのですけれど、そちらに来ているお母さんたちに、ニーズ調査はどうでしたかと聞いたところ、「面倒だった、捨ててしまった」というお母さんたちが何人

かいました。子育て中で忙しいお母さんたちはニーズ調査の文章を見て答えるのが大変で返信するに至らなかった方も多かったようでした。それで、市に何か要望とか言いたいことはありますか、と聞いたところ、「山のようにある」ということだったので、そういった在宅で小さいお子さんを育てているお母さんたちも、市の子育て支援について言いたいことは沢山あるんですけど、アンケートに答える暇がなくて、自分たちの声が届かないことに不満を持っていたようでした。そういったお母さんたちの声を拾い上げる場はないかと、こちらでも考えているのですが、会議としてもそのような考えがあるのかお聞きしたいと思います。

○武田会長

重要な意見ありがとうございます。タイミングとしては、次の会議、あるいは次の次の会議までやらなければならないこととなりますので、ニーズ調査以外の意見収集方法の検討を是非お願いできればと思います。座談会的なものを開くこともできますし、何回か計画的に決めて、時間帯など難しい部分もありますけれども、ご検討をよろしくお願いします。それから先ほどございました認定こども園の運営者のご意見も拾って共有していければと思いますので、よろしくお願いします。

ほかにいかがでしょうか。

○近藤委員

この会議の運営について日頃からお母さん方がおっしゃっていたのですが、冒頭の会議の運営方針とも関係するのですが、市民の方の傍聴が可能であれば呼びかけてお母さん方に聞いてもらうようにして、どんな話し合いがされているのかをリアルタイムで聞かれる環境を設けるようにできればということと、部会の設置について、委員以外の方がそこに参画できるのであれば、いろいろな声を上げて方も加わっていただいて、声を吸い上げていくこともできると思いますので、今後、部会の設置についてはどのようにお考えでしょうか。

○事務局（子育て支援課長）

傍聴につきましては、議事録の公開も行う予定でありますので、可能と考えております。事務局の中でも希望があれば拒むものではないと話し合ってきていますので、希望に応じて実施していきたいと考えていますが、積極的な情報提供という点につきましては今後検討していきたいと思っております。部会につきましては、必要に応じて開催していくという考えでございまして、また構成員については委員の中の関係する方で構成することをイメージしておりましたが、委員以外の方につきましては想定しておりませんでしたので、今後検討させていただきたいと思っております。

○武田会長

委員の方から具体的な提案がございましたら事務局でも検討できると思いますし、私も立場上、事務局と一緒に検討していければと思いますので、よろしく願いいたします。今日は運営について重要な意見をいただきました。中身につきましては、みなさん不完全燃焼なところがたくさんあるでしょうが、次回以降に寄せていただきたいと思います。

「(6) その他」につきまして、皆様にかご意見ございますでしょうか。

○小林委員

この会議の日程について、できるだけ早めに教えていただければと思います。内容は後でも良いので、日程だけ早めにお伝えいただければと思います。

○武田会長

日程調整だけでも大変かと思いますが、あらかじめ決まっていれば合わせられるという方もいらっしゃると思いますので、よろしく願いいたします。

どうもありがとうございました。第1回にふさわしい多くの意見を聞けました。これからいろいろと大変になるということで、身が引き締まる思いしております。何卒よろしく願いいたします。それでは事務局にお返ししたいと思います。

○事務局（こども育成主査）

長時間にわたりご協力いただきましてありがとうございます。以上をもちまして、平成25年度第1回酒田市子ども・子育て会議を閉会いたします。

【 午前12時00分閉会 】